

関東農政局管内の野菜の概要

令和6年12月

関東農政局生産部園芸特産課

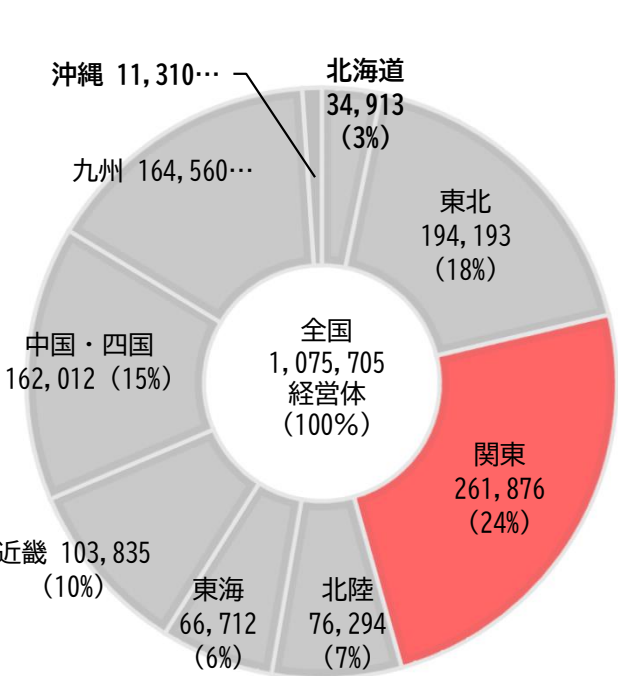
目次

● 農業経営体の状況	1
● 農業産出額	2
● 管内の指定野菜産地	3
● 管内の野菜指定産地主要品目の生産状況	
① 葉菜類(キャベツ・ほうれんそう・レタス・はくさい・ねぎ)	4
② 果菜類(きゅうり・ピーマン)	9
③ 根菜類(だいこん・にんじん)	11
● 果実的野菜(いちご・メロン)の産出額及び生産状況	13
● 園芸用施設面積の推移	15
● 次世代施設園芸の推進	16

● 農業経営体の状況

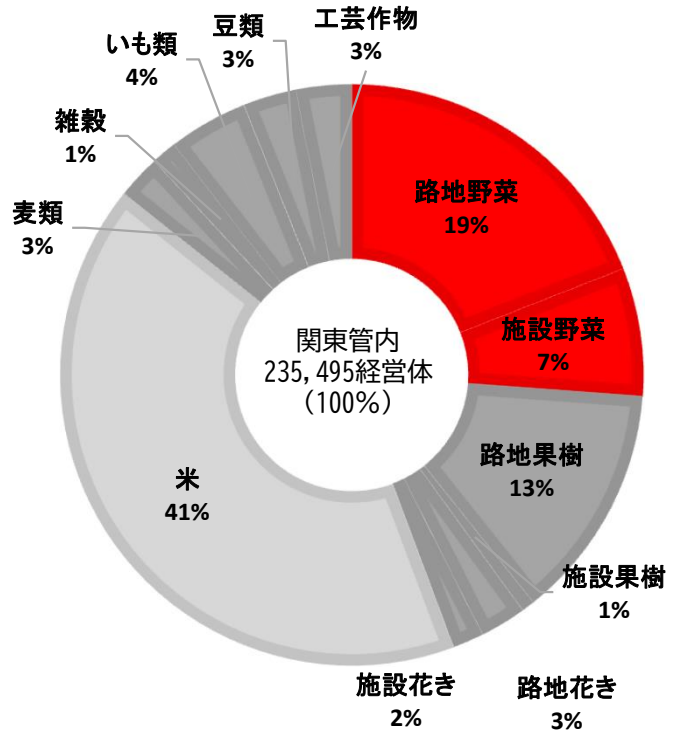
- 関東農政局管内(以下「管内」という。)の農業経営体数(令和2年)は261,876経営体で、全国の2割強を占めている。
- 販売を目的とした類別作付(栽培)販売目的経営体数でみると、管内では野菜経営体が全体の25%を占め、米に次いで割合が高い。
- 野菜販売農家の主副業農家割合をみると、管内平均は全国水準とほぼ同じだが、茨城県、栃木県、千葉県は主業農家数の割合が4割を超えており、農業所得を主として自営農業に従事している農家が多い。

農業経営体数



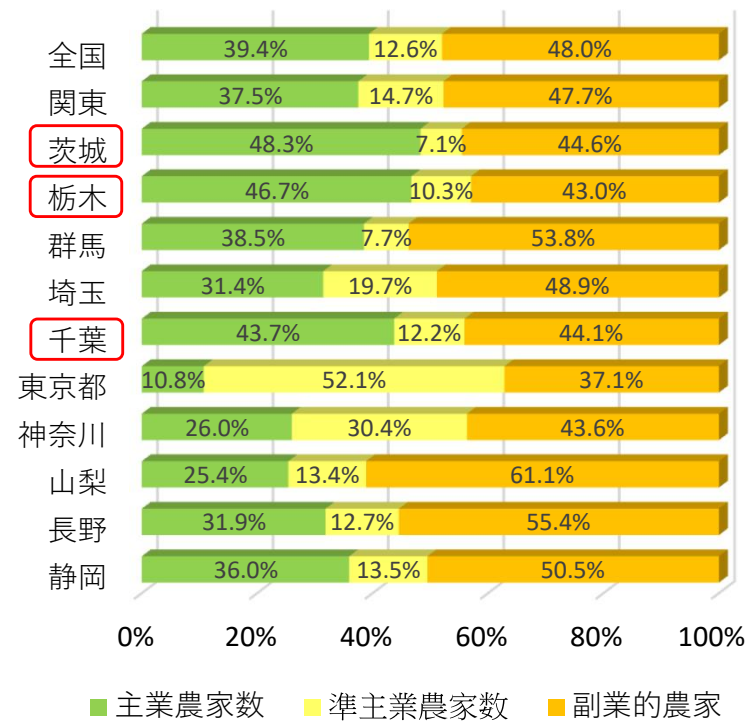
資料: 農林水産省「2020年農林業センサス」

類別作付(栽培)販売目的経営体数



資料: 農林水産省「2020年農林業センサス」

野菜販売農家における主副業別割合

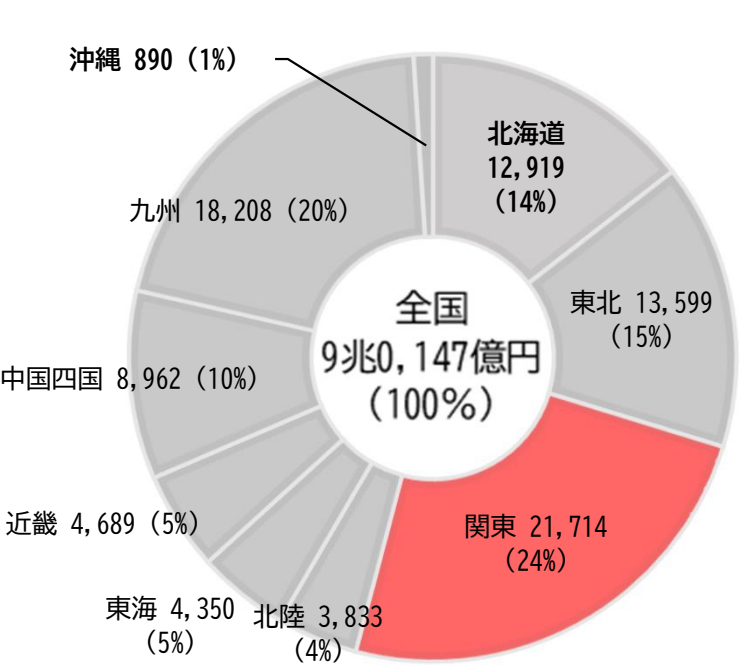


資料: 農林水産省「2020年農林業センサス」
注: 関東農政局計は都県の積上げ値

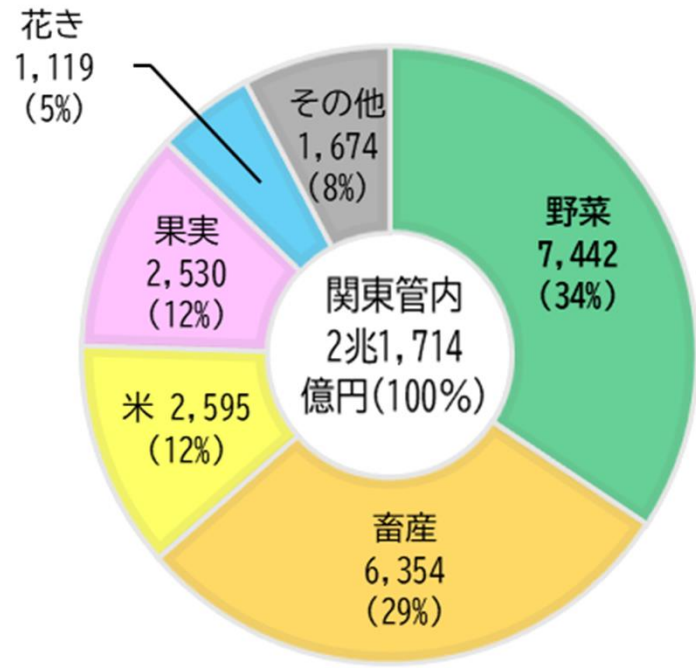
● 農業産出額

- 管内の農業産出額（令和4年）は2兆1,714億円で、全国の24%を占めている。
- 部門別にみると、野菜が7,442億円（全体の34%）で、畜産（6,354億円）、米（2,595億円）を上回り1位。
- 都県別にみると、茨城県が4,409億円（全国3位）で最も多く、次いで千葉県が3,676億円（同4位）、栃木県が2,718億円（同9位）で、全国上位に位置するところが多い。

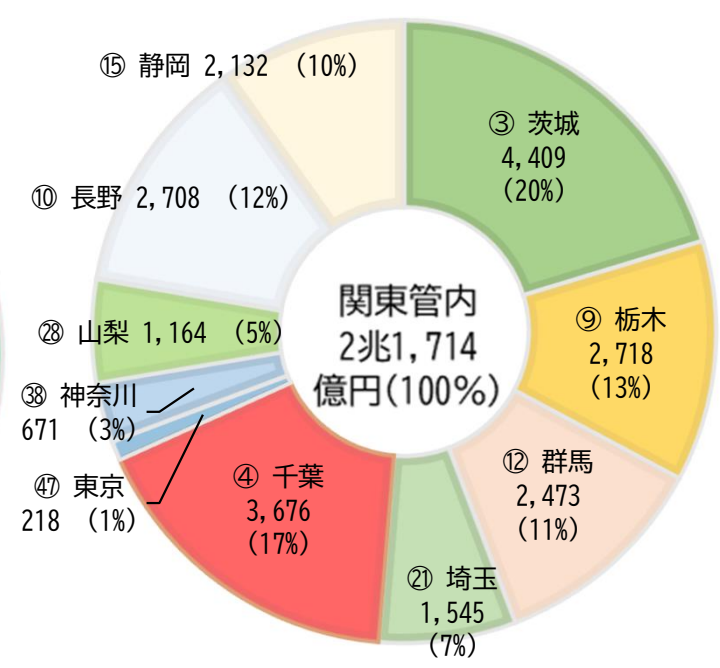
全国・農政局別



部門別（管内）



都県別（管内）



資料：農林水産省「生産農業所得統計」R4

○数値は、都道府県順位

注：1 全国及び管内の産出額は、都道府県値を積み上げたものである。
2 統計数値については、端数を四捨五入したため、合計値と内訳の計が一致しない場合がある（以下同じ。）。
3 （ ）内は、構成比である（以下同じ。）。
4 構成比については、表示単位未満の数値で算出しているため、表示上の数値で算出した構成比が一致しない場合がある（以下同じ。）。

管内の野菜指定産地

- 管内の野菜指定産地数は、248産地（令和6年5月8日現在）。全国（867産地）の約3割を占めている。
- 都県別の野菜指定産地数は、多い順に群馬県が47産地、千葉県が45産地、長野県が43産地となっている。
- 指定野菜14品目のうち管内の都県で産出額（令和4年度産）が全国順位1位は、ほうれんそう（群馬県）、レタス（長野県）、はくさい（長野県）、ねぎ（茨城県）、ピーマン（茨城県）、さといも（埼玉県）で、計6品目。

都県別野菜指定産地

都道府県	産地数	作付面積(ha)	収穫量(t)	出荷数量(t)
全 国	867	152,164	6,495,988	5,946,082
関 東	248	40,007	1,892,268	1,737,978
茨城	30	6,517	305,339	285,512
栃木	28	1,284	60,004	55,035
群馬	47	8,674	454,606	403,547
埼玉	19	2,173	84,435	73,181
千葉	45	7,400	342,583	322,296
神奈川	10	2,036	127,752	119,450
山梨	8	226	10,967	9,824
長野	43	9,744	438,883	406,193
静岡	18	1,953	67,798	62,440

※ 指定野菜とは、野菜生産出荷安定法に基づき政令で定められた、だいこん、にんじん、はくさい、キャベツ、ほうれんそう、ねぎ、レタス、きゅうり、なす、トマト、ピーマン、さといも、ばれいしょ、たまねぎの14品目をいう。

※ 野菜指定産地とは、野菜生産出荷安定法に基づき、指定野菜の集団産地として育成していく必要があると認められる産地を農林水産大臣が都道府県知事の申出を受けて指定する。

※ 資料：関東農政局調べ

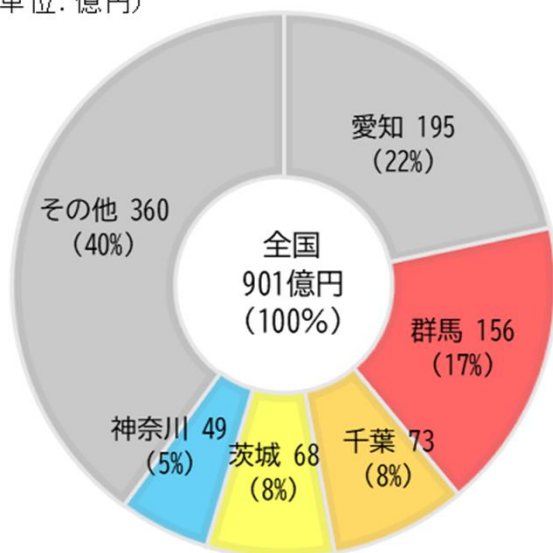
● 品目別産出額及び野菜指定産地主要品目の生産状況(葉菜類)

キャベツ

- 品目別農業産出額(令和4年)は、群馬県が156億円で全国2位、千葉県が73億円で全国3位となっており、管内全体で全国の約5割を占めている。
- 4～6月の春キャベツ、11月～翌3月の冬キャベツは千葉県や神奈川県温暖地帯、7～10月の夏秋キャベツは群馬県や長野県の高冷地での収穫が盛んである。これら管内産地のリレー出荷により周年出荷体制が整えられている。
- 管内産の収穫量(令和4年産)を市町村別に見ると、春キャベツは千葉県銚子市が38,200t(管内1位)で最も多く、夏秋キャベツは群馬県嬬恋村が233,500t(管内1位)で最も多く、冬キャベツは千葉県銚子市が40,800t(管内1位)で最も多くなっており、首都圏の需要を支えている。

品目別農業産出額

(単位: 億円)



資料: 農林水産省「生産農業所得統計(R4)」

令和4年産季節区分別収穫量(指定産地・管内上位3市町村)

春キャベツ

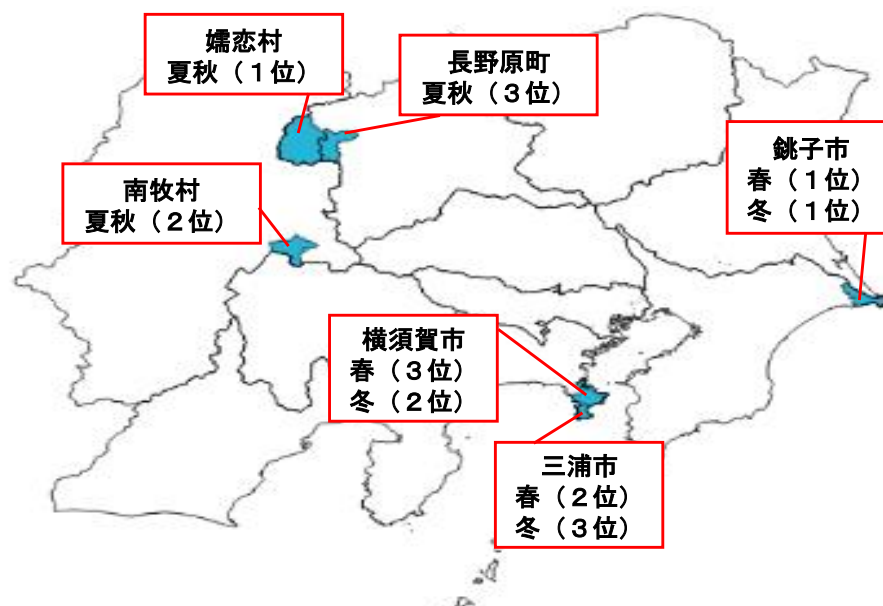
順位	春 (当年4月～当年6月)		
	都県	市町村	収穫量 (t)
1	千葉県	銚子市	3,8200
2	神奈川県	三浦市	29,600
3	神奈川県	横須賀市	7,030

夏秋キャベツ

順位	夏秋 (当年7月～当年10月)		
	都県	市町村	収穫量 (t)
1	群馬県	嬬恋村	233,500
2	長野県	南牧村	15,600
3	群馬県	長野原町	13,000

冬キャベツ

順位	冬 (当年11月～翌年3月)		
	都県	市町村	収穫量 (t)
1	千葉県	銚子市	40,800
2	神奈川県	横須賀市	9,880
3	神奈川県	三浦市	9,120



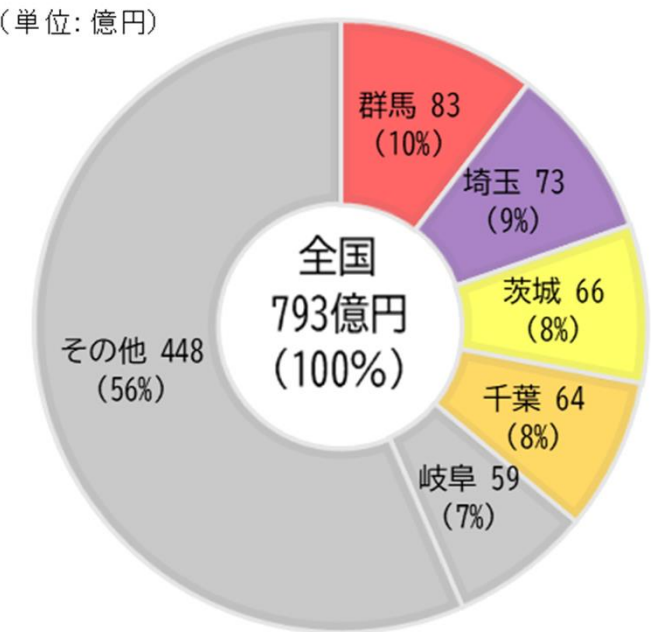
資料: 農林水産省「野菜生産出荷統計(R4)」

● 品目別産出額及び野菜指定産地主要品目の生産状況(葉菜類)

ほうれんそう

- 品目別農業産出額(令和4年)は、群馬県が83億円で全国1位、次いで埼玉県が73億円で全国2位となっており、管内全体では全国の約5割を占めている。
- 雨風で葉が痛みやすいが、雨除けハウスを利用することで、安定出荷している。
- 管内産の収穫量(令和4年産)を市町村別に見ると、群馬県太田市が6,270t(管内1位)で最も多くなっており、首都圏の需要を支えている。

品目別農業産出額



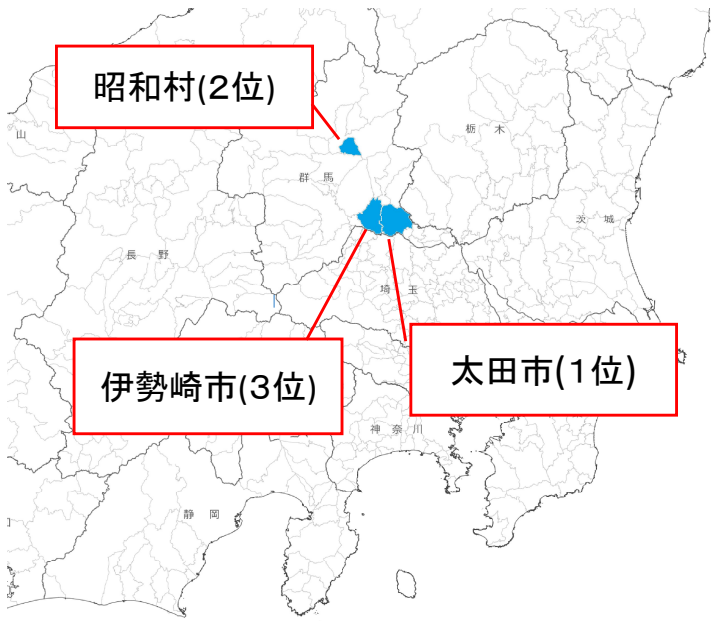
資料: 農林水産省「生産農業所得統計(R4)」

令和4年産収穫量(指定産地・管内上位3市町村)

ほうれんそう

順位	都県	市町村	収穫量 (t)
1	群馬県	太田市	6,270
2	群馬県	昭和村	6,050
3	群馬県	伊勢崎市	2,590

注: 茨城県、千葉県にほうれんそうの指定産地がないため市町村別統計は作成していない。



資料: 農林水産省「野菜生産出荷統計(R4)」

注: 国土地理院白地図使用

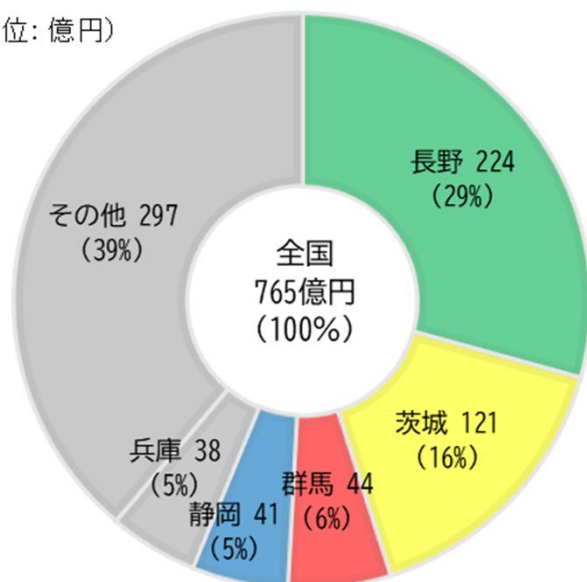
● 品目別産出額及び野菜指定産地主要品目の生産状況(葉菜類)

レタス

- 品目別農業産出額(令和4年)は、長野県が224億円で全国1位、次いで茨城県が121億円で全国2位となっており、管内全体で全国の6割を占めている。
- 4月～5月の春レタス、11月～翌3月の冬レタスは比較的温暖な茨城県や静岡県、6～10月の夏秋レタスは長野県や群馬県の高冷地での収穫が盛んである。これら管内産地のリレー出荷により周年出荷体制が整えられている。
- 管内産の収穫量(令和4年産)を市町村別に見ると、春レタスは茨城県坂東市が10,700t(管内1位)で最も多く、夏秋レタスは長野県川上村が86,800t(管内1位)で最も多く、冬レタスは茨城県坂東市が12,500t(管内1位)で最も多くなっており、首都圏の需要を支えている。

品目別農業産出額

(単位: 億円)



資料: 農林水産省「生産農業所得統計(R4)」

令和4年産季節区分別収穫量(指定産地・管内上位3市町村)

春レタス

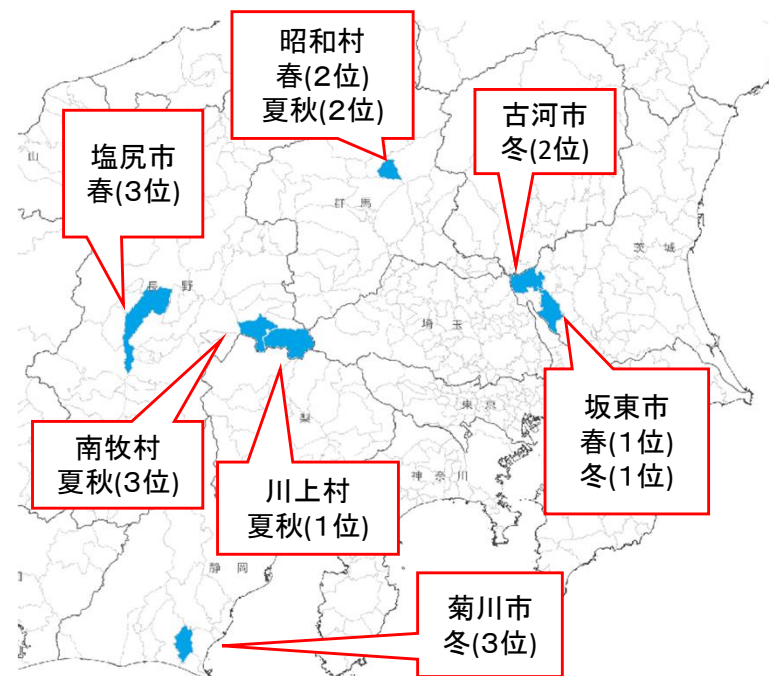
順位	春 (当年4月～当年5月)		
	都県	市町村	収穫量 (t)
1	茨城県	坂東市	10,700
2	群馬県	昭和村	7,180
3	長野県	塩尻市	6,110

夏秋レタス

順位	夏秋 (当年6月～当年10月)		
	都県	市町村	収穫量 (t)
1	長野県	川上村	86,800
2	群馬県	昭和村	28,200
3	長野県	南牧村	23,800

冬レタス

順位	冬 (当年11月～翌年3月)		
	都県	市町村	収穫量 (t)
1	茨城県	坂東市	12,500
2	茨城県	古河市	5,370
3	静岡県	菊川市	4,110



資料: 農林水産省「野菜生産出荷統計(R4)」

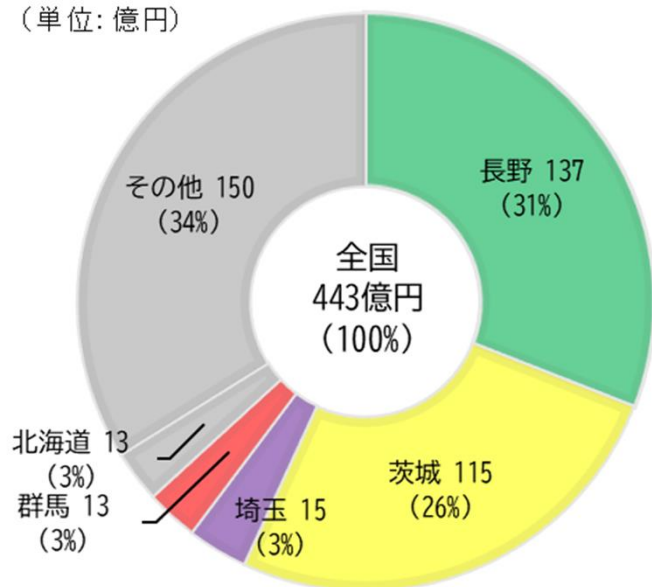
● 品目別産出額及び野菜指定産地主要品目の生産状況(葉菜類)

はくさい

- 品目別農業産出額(令和4年)は、長野県が137億円で全国1位、次いで茨城県が115億円で全国2位となっており、管内全体で全国の約7割を占めている。
- 4月～6月の春はくさい、10月～翌3月の秋冬はくさいは比較的温暖な茨城県、7～9月の夏はくさいは長野県の高冷地での収穫が盛んである。これら管内産地のリレー出荷により周年出荷体制が整えられている。
- 管内産の収穫量(令和4年産)を市町村別に見ると、春はくさいは茨城県八千代町が14,400t(管内1位)で最も多く、夏はくさいは長野県南牧村が49,200t(管内1位)で最も多く、秋冬はくさいは茨城県八千代町が49,600t(管内1位)で最も多くなっており、首都圏の需要を支えている。

品目別農業産出額

(単位: 億円)



資料: 農林水産省「生産農業所得統計(R4)」

令和4年産季節区分別収穫量(指定産地・管内上位3市町村)

春はくさい

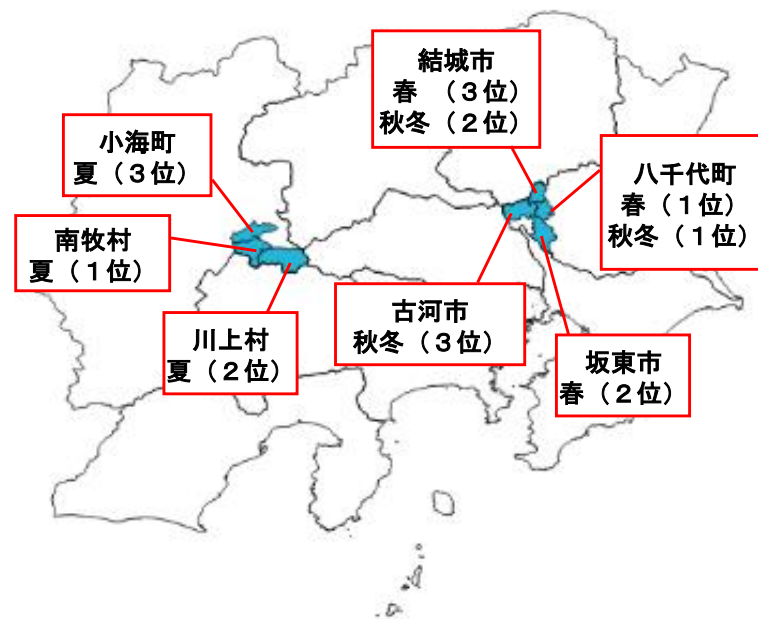
順位	春 (当年4月～当年6月)		
	都県	市町村	収穫量 (t)
1	茨城県	八千代町	14,400
2	茨城県	坂東市	7,360
3	茨城県	結城市	7,200

夏はくさい

順位	夏 (当年7月～当年9月)		
	都県	市町村	収穫量 (t)
1	長野県	南牧村	49,200
2	長野県	川上村	48,200
3	長野県	小海町	20,800

秋冬はくさい

順位	秋冬 (当年10月～翌年3月)		
	都県	市町村	収穫量 (t)
1	茨城県	八千代町	49,600
2	茨城県	結城市	34,400
3	茨城県	古河市	17,700



資料: 農林水産省「野菜生産出荷統計(R4)」

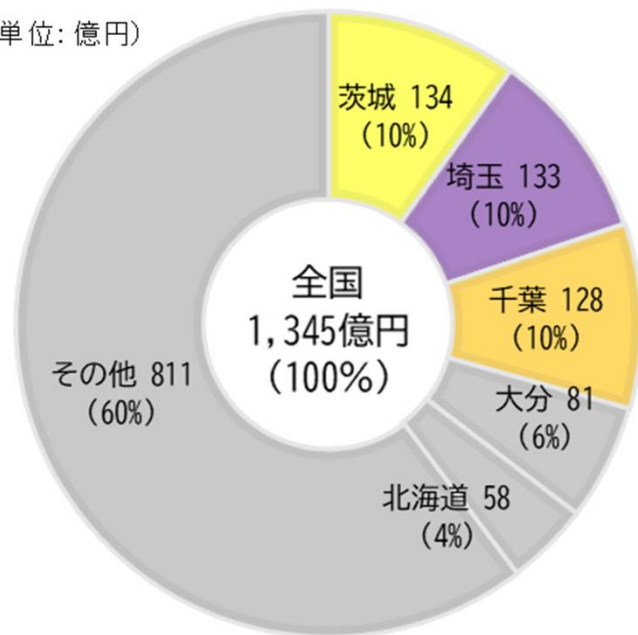
品目別産出額及び野菜指定産地主要品目の生産状況(葉菜類)

ねぎ

- 品目別農業産出額(令和4年)は、茨城県が134億円で全国1位、次いで埼玉県が133億円で全国2位、千葉県が128億円で全国3位となっており、管内3県で全国の3割を占めている。
- 4月～6月の春ねぎは茨城県・千葉県、7～9月の夏ねぎは茨城県・長野県、10月～翌3月の秋冬ねぎは埼玉県・千葉県を中心に生産している。これら管内産地のリレー出荷により周年出荷体制が整えられている。
- 管内産の収穫量(令和4年産)を市町村別に見ると、春ねぎは茨城県坂東市が8,470t(管内1位)で最も多く、夏ねぎは茨城県坂東市が6,120t(管内1位)で最も多く、秋冬ねぎは埼玉県熊谷市が5,310t(管内1位)で最も多くなっており、首都圏の需要を支えている。

品目別農業産出額

(単位: 億円)



資料: 農林水産省「生産農業所得統計(R4)」

令和4年産季節区分別収穫量(指定産地・管内上位3市町村)

春ねぎ

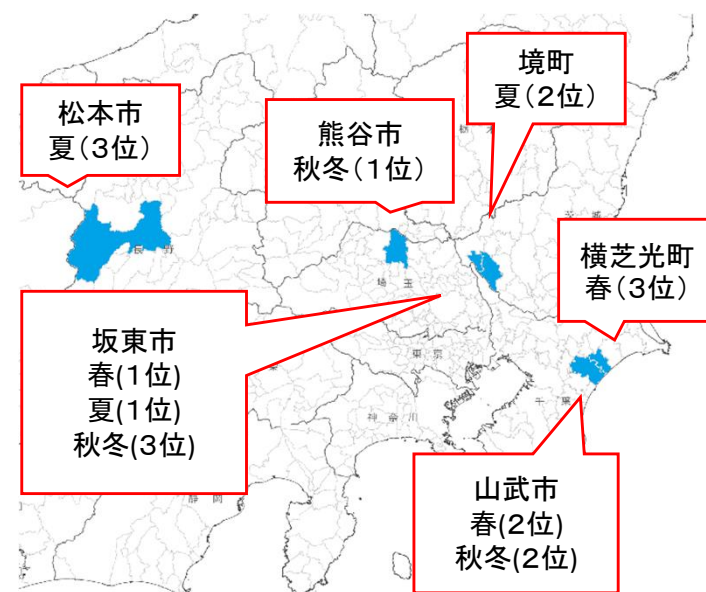
順位	春 (当年4月～当年6月)		
	都県	市町村	収穫量 (t)
1	茨城県	坂東市	8,470
2	千葉県	山武市	1,730
3	千葉県	横芝光町	960

夏ねぎ

順位	夏 (当年7月～当年9月)		
	都県	市町村	収穫量 (t)
1	茨城県	坂東市	6,120
2	茨城県	境町	1,460
3	長野県	松本市	1,430

秋冬ねぎ

順位	秋冬 (当年10月～翌年3月)		
	都県	市町村	収穫量 (t)
1	埼玉県	熊谷市	5,310
2	千葉県	山武市	5,200
3	茨城県	坂東市	4,560



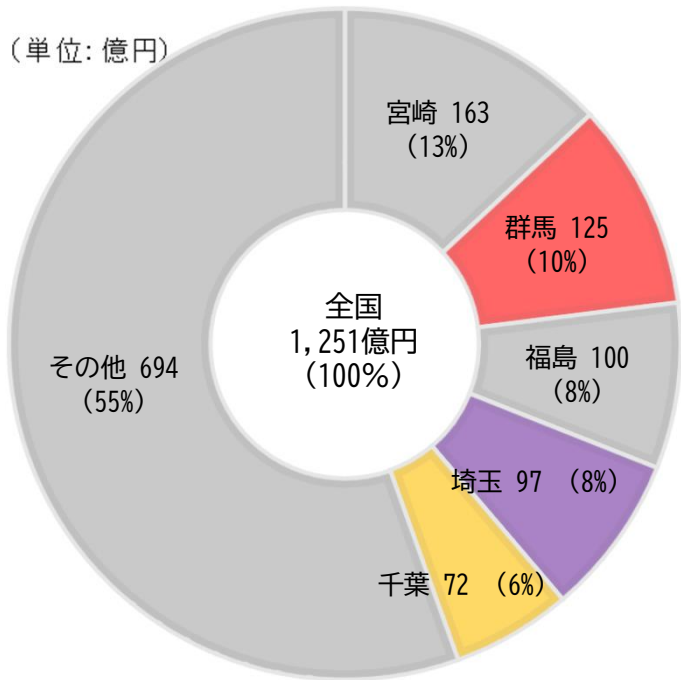
資料: 農林水産省「野菜生産出荷統計(R4)」

● 品目別産出額及び野菜指定産地主要品目の生産状況(果菜類)

きゅうり

- 品目別農業産出額(令和4年)は、群馬県が125億円で全国2位、埼玉県が97億円で全国4位となっており、管内全体で全国の4割弱を占めている。
- 千葉県や埼玉県、群馬県では比較的温暖な気候を生かし、12月～翌6月の冬春きゅうりの生産が盛んである。また、施設栽培により、周年栽培が可能となっている。
- 管内産の収穫量(令和4年産)を市町村別に見ると、夏秋きゅうりは埼玉県深谷市が5,180t(管内1位)で最も多く、冬春きゅうりは千葉県旭市が12,500t(管内1位)で最も多くなっており首都圏の需要を支えている。

品目別農業産出額



資料: 農林水産省「生産農業所得統計(R4)」

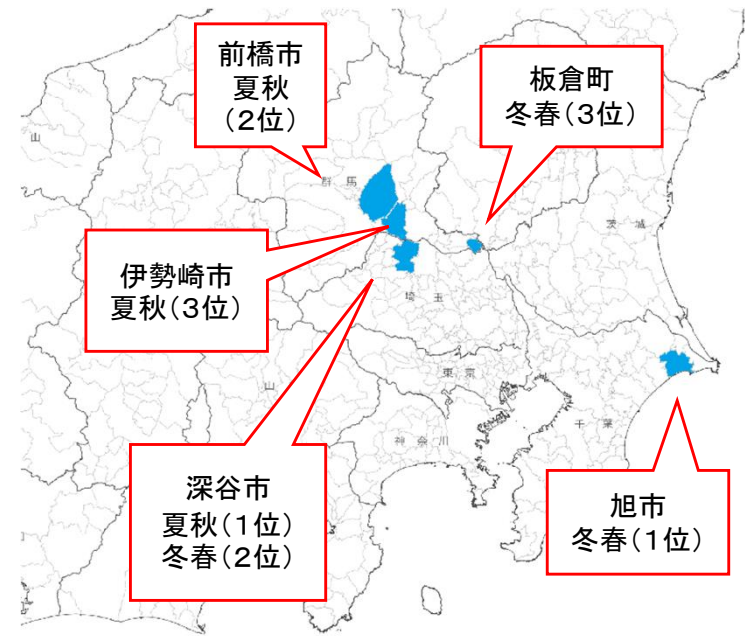
令和4年産季節区分別収穫量(指定産地・管内上位3市町村)

夏秋きゅうり

順位	夏秋(当年7月～当年11月)		
	都県	市町村	収穫量(t)
1	埼玉県	深谷市	5,180
2	群馬県	前橋市	4,240
3	群馬県	伊勢崎市	3,960

冬春きゅうり

順位	冬春(当年12月～翌年6月)		
	都県	市町村	収穫量(t)
1	千葉県	旭市	12,500
2	埼玉県	深谷市	9,920
3	群馬県	板倉町	9,020



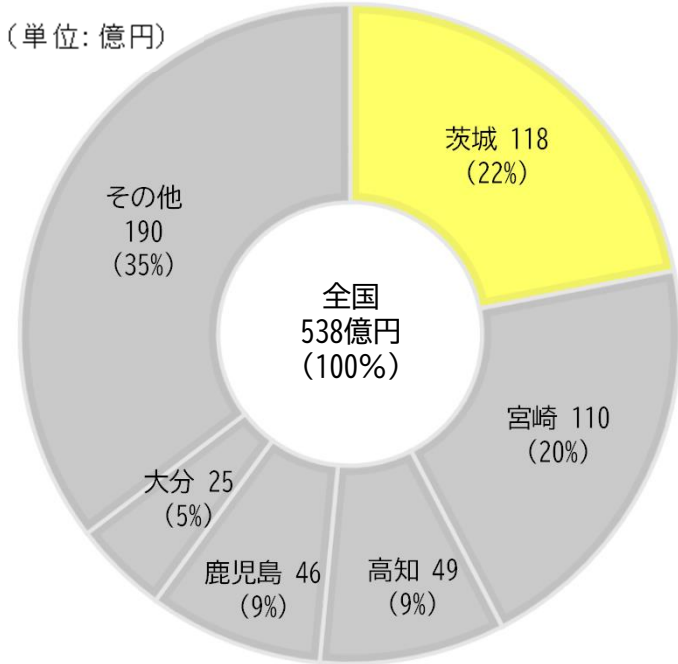
資料: 農林水産省「野菜生産出荷統計(R4)」

品目別産出額及び野菜指定産地主要品目の生産状況(果菜類)

ピーマン

- 品目別農業産出額(令和4年)は、茨城県が118億円で全国1位となっており、全国の2割を占めている。
- 温暖な気候と、水はけの良い土壌を有する茨城県での生産が盛んである。また、施設栽培により周年供給が可能となっている。
- 管内産の収穫量(令和4年産)を市町村別に見ると、茨城県神栖市が夏秋ピーマンでは8,560t、冬春ピーマンでは20,100tで最も多くなっており、首都圏の需要を支えている。

品目別農業産出額



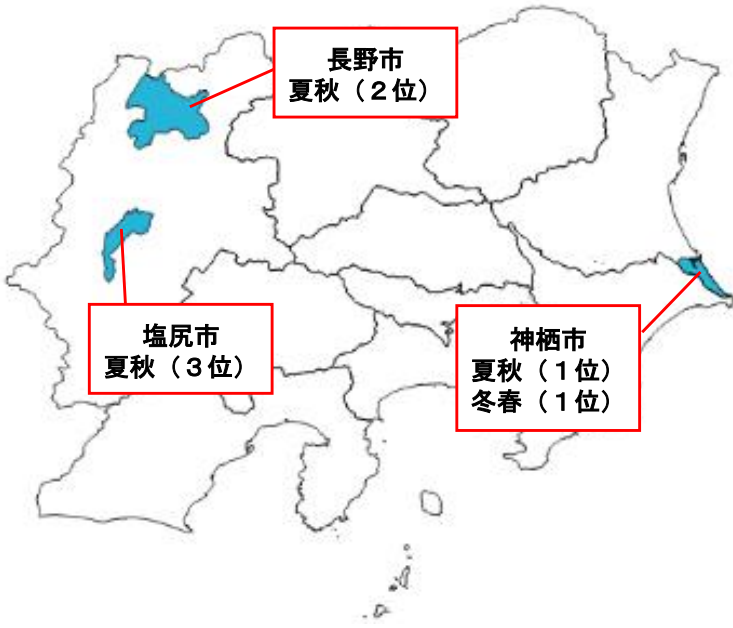
令和4年産季節区分別収穫量(指定産地・管内上位3市町村)

夏秋ピーマン

順位	夏秋 (当年6月～当年10月)		
	都県	市町村	収穫量 (t)
1	茨城県	神栖市	8,560
2	長野県	長野市	341
3	長野県	塩尻市	261

冬春ピーマン

順位	冬春 (当年11月～翌年5月)		
	都県	市町村	収穫量 (t)
1	茨城県	神栖市	20,100



資料: 農林水産省「生産農業所得統計(R4)」

資料: 農林水産省「野菜生産出荷統計(R4)」

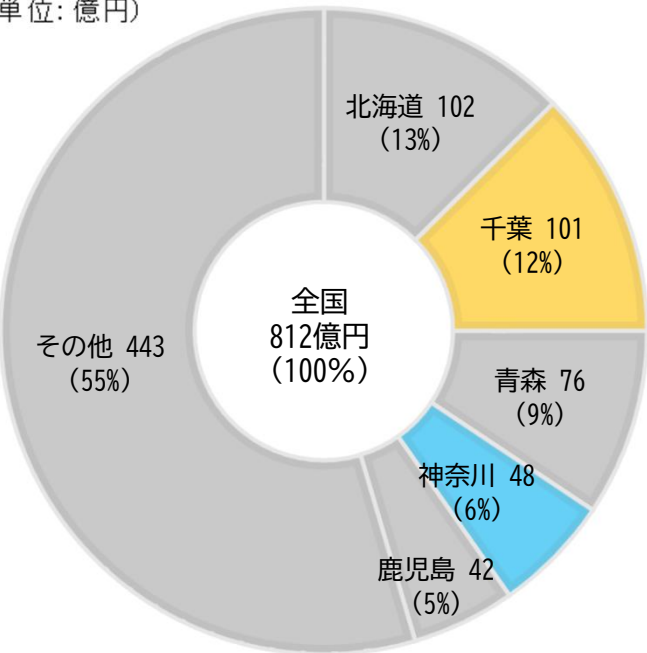
品目別産出額及び野菜指定産地主要品目の生産状況(根菜類)

だいこん

- 品目別農業産出額(令和4年)は、千葉県が101億円で全国2位となっており、管内全体で全国の3割強を占めている。
- 温暖な気候を生かし、千葉県や神奈川県では春だいこんや冬だいこんの生産が盛んである。
- 管内産の収穫量(令和4年産)を市町村別に見ると、春だいこんは千葉県銚子市が24,500t(管内1位)で最も多く、夏だいこんは群馬県片品村が5,120t(管内1位)で最も多く、秋冬だいこんは神奈川県三浦市が59,400t(管内1位)で最も多くなっており、首都圏の需要を支えている。

品目別農業産出額

(単位: 億円)



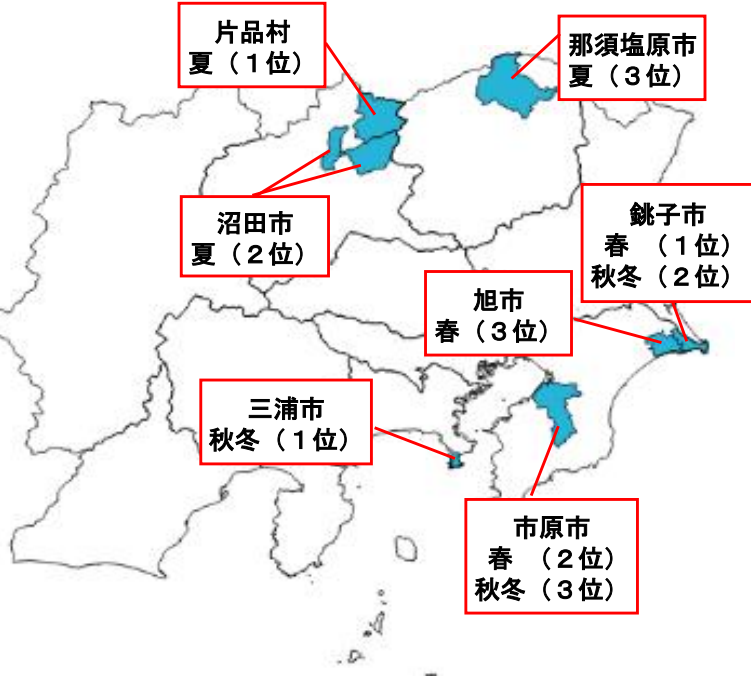
資料: 農林水産省「生産農業所得統計(R4)」

令和4年産季節区分別収穫量(指定産地・管内上位3市町村)

春だいこん			
順位	春 (当年4月～当年6月)		
	都県	市町村	収穫量 (t)
1	千葉県	銚子市	24,500
2	千葉県	市原市	5,620
3	千葉県	旭市	3,340

夏だいこん			
順位	夏 (当年7月～当年9月)		
	都県	市町村	収穫量 (t)
1	群馬県	片品村	5,120
2	群馬県	沼田市	3,890
3	栃木県	那須塩原市	626

秋冬だいこん			
順位	秋冬 (当年10月～翌年3月)		
	都県	市町村	収穫量 (t)
1	神奈川県	三浦市	59,400
2	千葉県	銚子市	37,500
3	千葉県	市原市	9,090



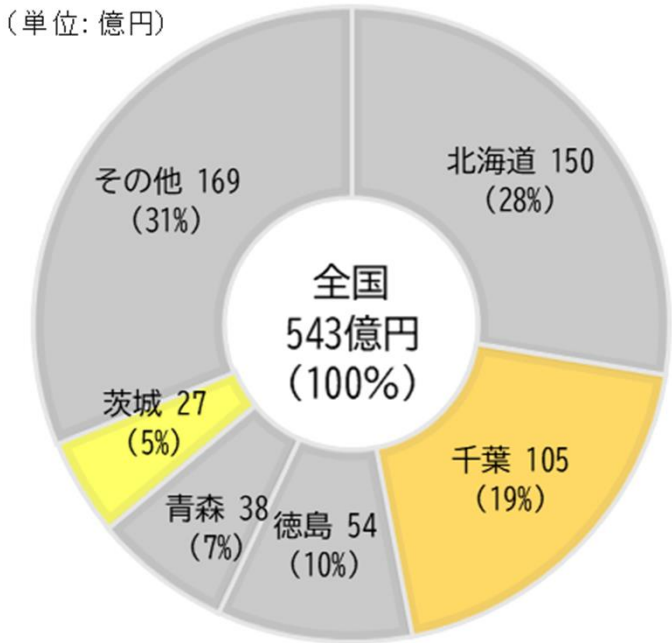
資料: 農林水産省「野菜生産出荷統計(R4)」

● 品目別産出額及び野菜指定産地主要品目の生産状況(根菜類)

にんじん

- 品目別農業産出額(令和4年)は、千葉県が105億円で全国2位となっており、管内全体で全国の3割を占めている。
- 千葉県や茨城県では温暖な気候を生かし、冬にんじんの生産が盛んである。
- 管内産の収穫量(令和4年産)を市町村別に見ると、春夏にんじんは千葉県船橋市が2,360t(管内1位)で最も多く、冬にんじんは千葉県富里市が31,100t(管内1位)で最も多くなっており、首都圏の需要を支えている。

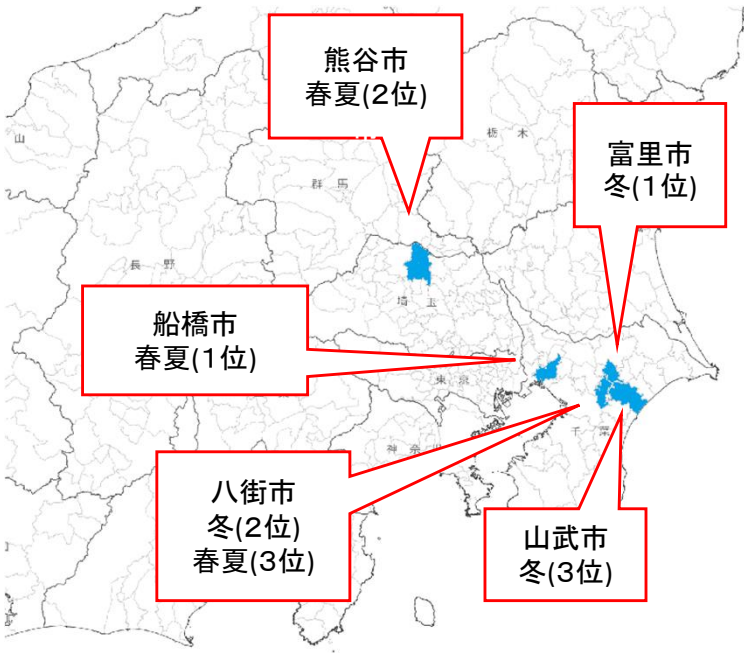
品目別農業産出額



令和4年産季節区分別収穫量(指定産地・管内上位3市町村)

春夏にんじん			
順位	春夏(当年4月～当年7月)		
	都県	市町村	収穫量(t)
1	千葉県	船橋市	2,360
2	埼玉県	熊谷市	1,870
3	千葉県	八街市	1,720

冬にんじん			
順位	冬(当年11月～翌年3月)		
	都県	市町村	収穫量(t)
1	千葉県	富里市	31,100
2	千葉県	八街市	20,100
3	千葉県	山武市	10,900



資料: 農林水産省「生産農業所得統計(R4)」

資料: 農林水産省「野菜生産出荷統計(R4)」

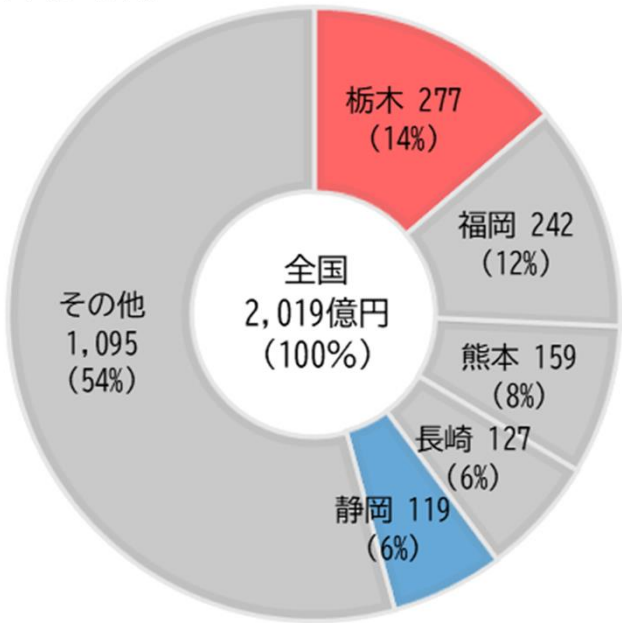
● 品目別産出額及び生産状況(果実的野菜類)

いちご

- 品目別農業産出額(令和4年)は、栃木県が277億円で全国1位となっており、管内全体で全国の4割弱を占めている。
- 管内産の収穫量(令和4年産)を県別に見ると、全国上位10県以内に管内の4県が入っており、栃木県が24,400t(全国1位)で最も多く、次いで静岡県が10,400t(同5位)、茨城県が9,300t(同7位)、千葉県が7,280t(同8位)の順となっている。

品目別農業産出額

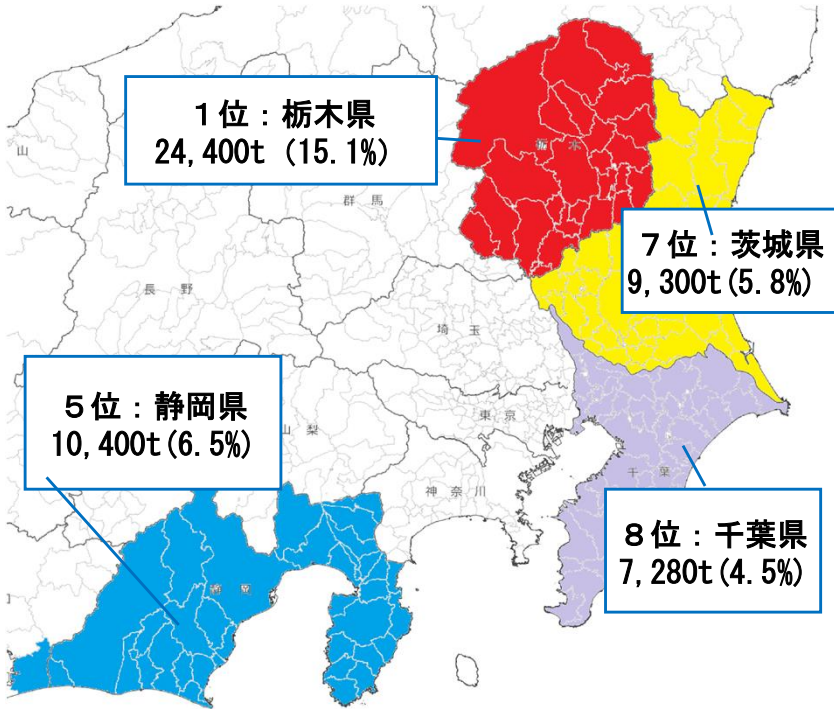
(単位: 億円)



資料: 農林水産省「生産農業所得統計(R4)」

令和4年産県別収穫量と全国シェア(全国上位10県まで)

全国順位	都道府県	収穫量	全国シェア
位		t	%
1	栃木	24,400	15.1
2	福岡	16,800	10.4
3	熊本	11,700	7.3
4	愛知	10,600	6.6
5	静岡	10,400	6.5
6	長崎	10,300	6.4
7	茨城	9,300	5.8
8	千葉	7,280	4.5
9	佐賀	6,720	4.2
10	宮城	4,870	3.0
一	全 国	161,100	100



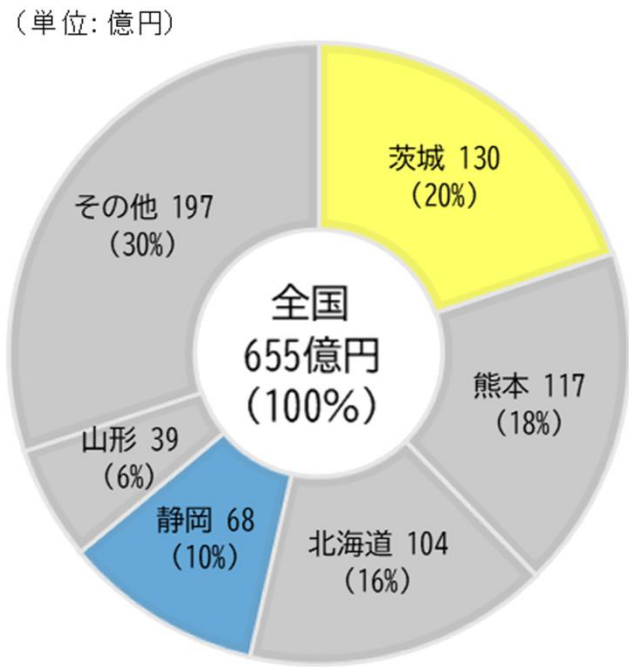
資料: 農林水産省「野菜生産出荷統計(R4)」

品目別産出額及び生産状況(果実的野菜類)

メロン

- 品目別農業産出額(令和4年)は、茨城県が130億円で全国1位となっており、管内全体で全国約4割弱を占めている。
- 管内産の収穫量(令和4年産)を県別に見ると、全国上位10県以内に管内の3県が入っており、茨城県が33,700t(全国1位)で最も多く、次いで千葉県が7,480t(同7位)、静岡県が6,140t(同8位)の順となっている。

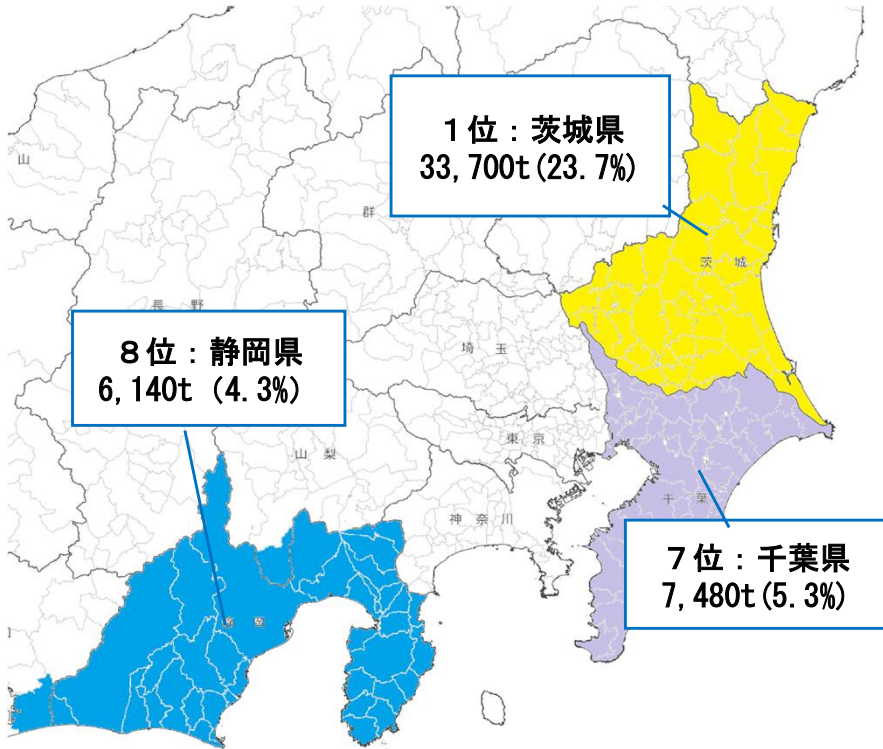
品目別農業産出額



資料: 農林水産省「生産農業所得統計(R4)」

令和4年産県別収穫量と全国シェア(全国上位10県まで)

全国順位	都道府県	収穫量	全国シェア
位		t	%
1	茨城	33,700	23.7
2	熊本	24,400	17.1
3	北海道	19,900	14.0
4	愛知	9,870	6.9
5	山形	9,550	6.7
6	青森	8,020	5.6
7	千葉	7,480	5.3
8	静岡	6,140	4.3
9	秋田	3,070	2.2
10	鳥取	1,040	0.7
一	全 国	142,400	100

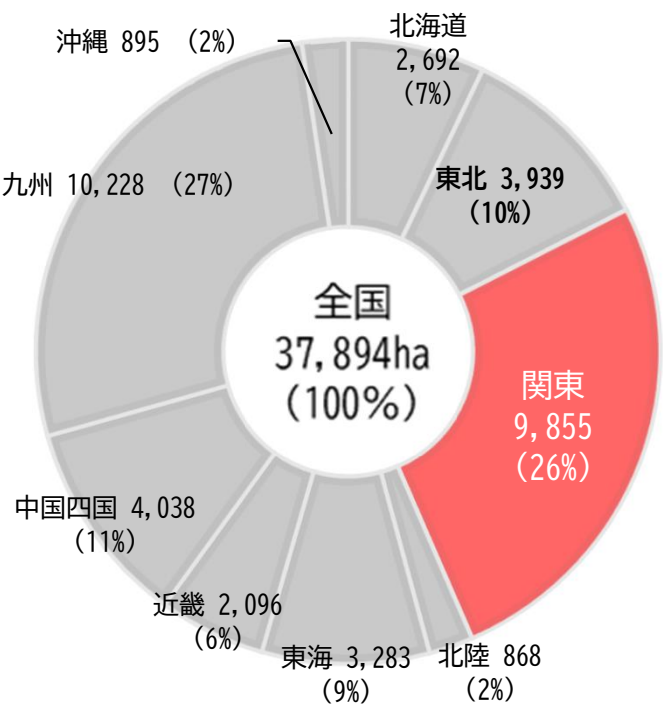


資料: 農林水産省「野菜生産出荷統計(R4)」

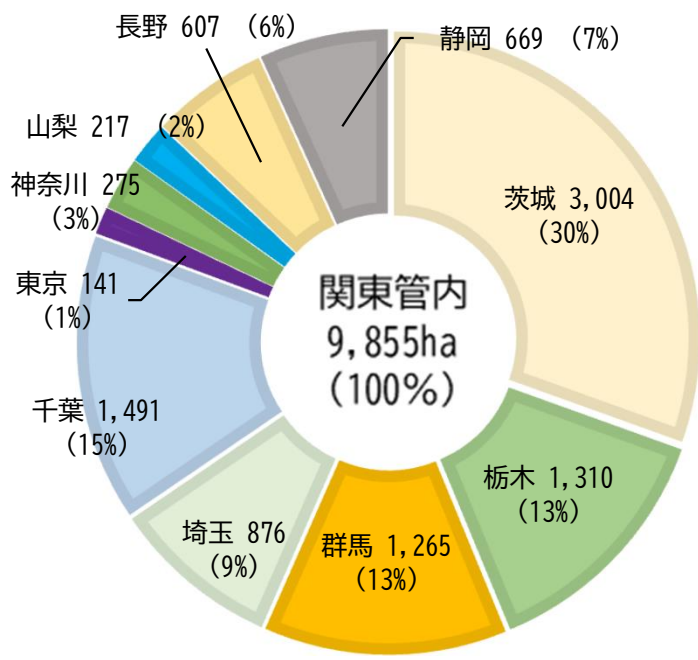
● 園芸用施設面積

- 管内の園芸用施設面積は9,855haで、九州に次いで施設栽培が盛んに行われている。
- 管内の園芸用施設は8割が野菜の栽培に利用されており、都県別で見ると野菜の主産地である茨城県が3,004haで管内の3割を占めている。
- 管内では果菜類、根菜類、葉菜類及び果実的野菜類、あらゆる品目で施設を利用しており、施設栽培によって周年・計画生産が行われ、安定的な供給に寄与している。

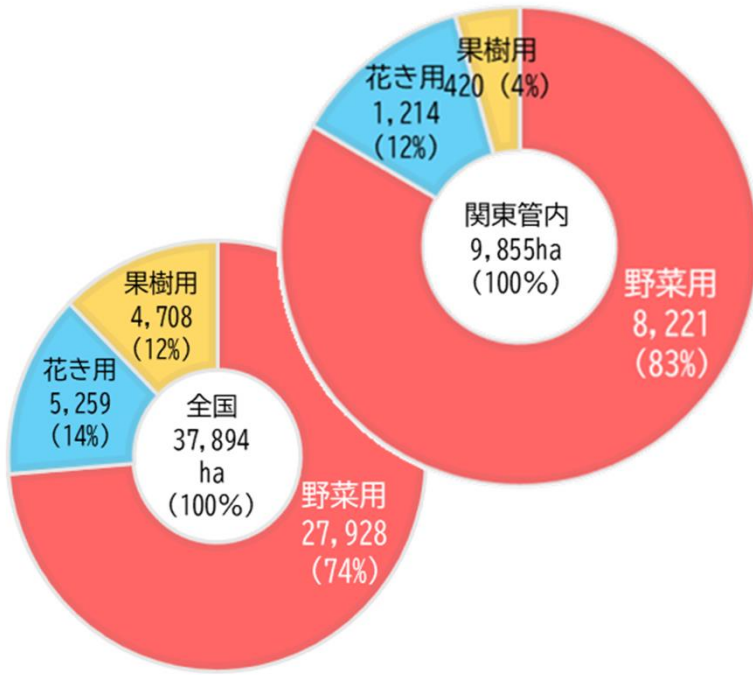
園芸用施設設置面積(全国)



園芸用施設設置面積(関東)



園芸用施設面積に占める
主要部門の利用割合



資料: 農林水産省「ガラス室・ハウス設置状況(栽培用)(令和3年11月1日～令和4年10月31日間の栽培に使用したもの)」

● 次世代施設園芸の推進

- 気候に左右されず、野菜等の安定供給を確保するためには、コンピュータによる高度な環境制御を行い、周年・計画生産を行う次世代施設園芸の推進が重要である。
- 南北に長い日本の自然条件等に適した次世代施設園芸を確立するため、全国10カ所にモデル拠点を整備し、管内では埼玉県と静岡県 の2カ所に次世代施設園芸拠点を整備した。

埼玉県拠点(久喜市)【2017年1月完成】

栽培面積: 3.3ha

品目: トマト 🍅

目標: 30t/10a

地域エネルギー: 木質バイオマス 🌲



静岡県拠点(小山町)【2016年1月完成】

栽培面積: 4.0ha

品目: 高糖度トマト・高糖度ミニトマト 🍅 🍅

目標: 7.0t/10a (高糖度トマト)

3.0t/10a (高糖度ミニトマト)

地域エネルギー: 木質バイオマス 🌲



資料: 農林水産省「施設園芸をめぐる情勢」

(参考) 農業産出額の全国順位が上位の品目(令和4年)

